

令和8年度 佐賀市立西与賀小学校 教育課程

1 学校教育目標

「元気いっぱい、自分から学び、共に高め合う西与賀っ子」の育成

2 本年度の重点目標

「社会に開かれた教育課程」を具現化し、「心育て」「学び」「体づくり」で育成した力を統合して、学んだことを実生活に生かすことで目標にせまる。

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

- ・自分で・みんなで考え、「できた」「わかった」を実感できる学び、となる学習指導を行う。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、結果分析、指導法改善の取組検討、取組の実践、取組の評価を通して、学習面、生活面の向上を図る。(10月に学校ホームページで公表)
- ・WEBQU(児童の状態を多角的に知るアンケートツール)の結果分析による児童の実態把握、授業づくりを行う。
- ・1人1台端末(タブレットPC)利活用の充実を図り、「楽しく、分かる授業」を通した確かな学力づくりを行う。
- ・子供の主体性を伸ばすために「自立」「尊重(自由の相互承認)」「創造」を育てていく。
- ・「読書を通し、本に親しむ子供の育成」「家読(家庭・家族での読書)の推進」を行う。

(2)生徒指導の充実

- ・「出番」「役割」「承認」をキーワードに、児童が自己決定できる環境づくりを行い、学校生活全般において、自己肯定感を高め、主体性を伸ばす支援・指導を行う。
- ・計画的に人権集会(学級づくりや人権意識の高揚に係る取組)を実施し、人権・同和教育の充実を図る。
- ・「今日が楽しくて、明日が待ち遠しくなる西与賀小学校」をスローガンに、「いじめ・いのち」のアンケート、学習を通して、自他を大切にする支援・指導を行う。
- ・登校しづらい児童に対し、児童の進路、社会的自立を目指して、家庭・学校・関係機関が連携協力し、組織的支援を行う。

(3)特別支援教育の充実

- ・個に応じた指導(個別最適化の教育)の視点を大切にし、「集団づくりと学力保障」の実践および研究に取り組む。
- ・子供一人一人の教育的ニーズを把握し、その教育的ニーズに応じた適切な支援・指導をきめ細かく行う。
- ・特別な支援の必要な子供を中心に据えた学年・学級経営を行い、認め励まし合う支持的風土のある学級(ユニバーサルデザイン化された学級)づくりを行う。
- ・個別の指導・支援の最適化を目指し、家庭・関係機関(医療、福祉)との連携から、特別な配慮の必要な児童の教育支援計画を基に、全職員が共通理解の下、学校組織として特別支援教育の推進を図る。

(4)社会に開かれた教育課程の充実

- ・学校運営協議会を設置したCS(コミュニティースクール)は10年目となった。学校・家庭・地域が「自分らしい生き方ができる子」の育成を共に目指していく。
- ・地域の教育力を教育課程の中に積極的に取り入れ、児童や教職員を地域行事に出して連携を取りながら教育の質の向上を図る。
- ・地域社会が学校のよき理解者、応援団となる「西与賀CS」を教育課程の中に位置付け、「地域に根ざし、地域と歩み、地域に信頼される学校づくり」となるようにCSを活用し、家庭・地域に学校の情報を発信していく。

(5)佐賀大学教育学部、小中、幼保こ小での連携の取組

- ・佐賀大学教育学部の代用附属校として、教育実習生を受け入れ、次世代の教育を担う人材の養成に関わり、共に、本校の校内研究に大学からの指導・助言をいただき、日々の授業実践を行う。
- ・城西中学校、本庄小学校と情報交換、授業参観等を通して、小中一貫性のある指導を行う。
- ・町内2園(信光幼稚園、城西こども園)との定期的な園児との交流で、小学校生活への期待を高めていく。
- ・計画的な連携会議や情報交換を適宜行い、幼稚園・こども園から小学校へのスムーズなつながりを図る。

学校教育目標 元気いっぱい、自分から学び、共に高め合う西与賀っ子の育成

(自分やみんなのため)「考え、行動する」【目指す子供の姿】「笑顔」あふれる子供

- 明るく共生する子供(心育て)
- かしこく創造する子供(学び)
- たくましく伸長する子供(体づくり)

【目指す教職員の姿】

- 「愛」あふれる教職員：愛情と熱意
- 「やる気」あふれる教職員：専門性と実践力、前向き
- 「笑顔」あふれる教職員：やりがいと協働、ワークライフバランス
- 「安心・安全」を守る教職員：未然防止と危機管理

熟議

連携

【保護者の願い】

西与賀CS
コミュニティ・
スクール

【地域の願い】

【目指す学校「チーム西与賀」の姿】

- つながり 活気あふれる学校
- 共に学び合う学校
- 安心・安全な学校

今年度の重点：「社会に開かれた教育課程」を具現化し、
「心育て」「学び」「体づくり」で、**主体性を育む**ことで目標にせまる。

「心育て」重点指導項目

居心地の良い教室
(挨拶・掃除・言葉遣い)

「学び」重点指導項目

自分で・みんなで考え、
達成感を味わえる学びづくり

「体づくり」重点指導項目

規則正しい生活習慣と運動

- いじめ未対処を0にする
- 児童・保護者に向け毎月1日の「いじめいのちを考える日」アンケート実施
(記載があった場合は、その日のうちに何かの対応をする)
- 特別支援教育の推進 ユニバーサルデザイン化された環境 個別最適化
- 気になる子の親とは管理職等含め、複数のスタッフで対応する
- 意図してつくる「出番・役割・承認」場面

教師「いじめ防止のための取り組みができています」95%以上

- あいさつ 「西与賀小学校よいこのきまり」の徹底
- ソーシャルスキルを通して人との関わりを深める
- 授業参観でのふれあい道徳の実施

児童「進んであいさつをしている」「友達に優しくしている」85%以上
保護者「学校は、子供に人権意識や思いやりの心を育てている」90%以上

- タブレットの活用
- 週末の自主学習の取組

児童「進んで家庭学習をしている」80%以上

- あしのご必読書25冊以上
- 家読のすすめ
- 地域連携あしのご必読語り

児童「貸出冊数目標の達成」「進んで読書している」80%以上

- 低 120冊 中100冊 高80冊 全校で3万冊
- 基礎・基本の定着(視写・百マス計算)

児童「1月実施31」全項目通過率95%以上

- (学習課題と振り返りをもとに表現力を高める授業の工夫)

教師「校内研究における授業公開 年間1人1回以上」

- 交通安全集会
- 交通安全教室
- 帰りの誓い

児童「ヘルメットの着用徹底」着用率100%

- 時間を守る、外遊びの推奨
- 「早寝・早起き・朝ご飯」PTAと連携した取組
- 【生活パワーアップ週間(年に2回) 振り返りから実践に】
- 担任と養護教諭が連携した健康教育(保健・学級活動)

児童「早寝 朝ごはん」75%以上

児童「徒歩での登校」85%以上

業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減

時間外勤務時間 月平均 45 時間以内の上限を遵守する

- 時間の確保
- 業績評価の活用(時間外削減の方策を明記)
- 振り返り 即来年度の計画へ
- ペーパーレス化